

近藤良平 岐阜に再臨

Kondo Ryonei returns to Gifu

3月7日（土）

13:00-14:30

岐阜県美術館 多目的ホール（岐阜市宇佐 4-1-22）

事前申込み不要、参加費無料

※参加される方は、動きやすい服装でお越しください。

主催：岐阜県美術館

岐阜県可児市にある可児市文化創造センター ala では、平成 20 年度より毎年、大型市民参加プロジェクトを実施しています。ミュージカル、翌年はコンテンポラリーダンス、翌々年は演劇といった順番で3年毎に開催しているものです。

プロの演出家や振付家たちを可児に招聘し、約5か月間、参加者とワークショップを繰り返しながら、作品を作り上げていきます。そこでは舞台に立つキャストだけでなく、小道具や衣装も多くの参加者の手によって制作、準備されます。

令和2年3月より可児市文化創造センター ala は改修工事に伴って休館します。休館する前の最後の市民参加プロジェクトとして「オーケストラで踊ろう！」の振付・演出を近藤良平が担当することになりました。このプロジェクトでは、高名な指揮者の古谷誠一のもと地元オーケストラ「可児交響楽団」の生演奏で、経験の有無を問わない老若男女による市民ダンサーたちが踊ります。昨年の平成31年3月2日、3日の公演では、ビゼーの「アルルの女」とグリーグの「パール・ギュント第一組曲」に合わせて、52人の市民キャストが舞台に上がりました。

さてその公演から1年が過ぎ、近藤良平は岐阜に舞い戻ってきます。今度は劇場から美術館に舞台を変えて、何を起こそうというのか。お楽しみください。

近藤良平

ベルー、チリ、アルゼンチン育ち。コンドルズ主宰。平成28年度（第67回）文化庁芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。NHK教育「からだであそぼ」内「こんどうさんちのたいそう」、「かもしれないたいそう」、「あさだからだ！」内「こんどうさんとたいそう」、NHK総合「サラリーマンNEO」内「サラリーマン体操」などで振付出演。女子美術大学、立教大学などで非常勤講師としてダンスの指導もしている。



Photo: HARU

本企画は令和元年度岐阜県美術館企画

「アートまるケット

アーティストがワタシントコにやって来た！

岐阜県の滞在制作レビュー」

の関連事業となります。